

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

| | |
|------|-------------|
| 学校名 | 札幌大学女子短期大学部 |
| 設置者名 | 学校法人札幌大学 |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 学部名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数 | | | | 省令で定める基準単位数 | 配置困難 |
|------|------------|-----------|-----------------------|---------|------|----|-------------|------|
| | | | 全学共通科目 | 学部等共通科目 | 専門科目 | 合計 | | |
| | キャリアデザイン学科 | 夜・通信 | — | 2 | 17 | 19 | 7 | |
| | こども学科 | 夜・通信 | — | 2 | 25 | 27 | 7 | |
| (備考) | | | | | | | | |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

| |
|--|
| 【ホームページ】 https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/#shugaku-shien |
|--|

3. 要件を満たすことが困難である学部等

| |
|-----------|
| 学部等名 |
| (困難である理由) |

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

| | |
|------|-------------|
| 学校名 | 札幌大学女子短期大学部 |
| 設置者名 | 学校法人札幌大学 |

1. 理事（役員）名簿の公表方法

| |
|--|
| <p>【ホームページ】札幌大学について 学校法人札幌大学 役員等名簿 役員（理事・監事）令和3年度4月1日現在 https://www.sapporo-u.ac.jp/img/yakuin.pdf</p> <p>【ホームページ】「2020(令和3)年度 事業報告書 1-4 役員の概要・1-5 評議員の概要 2021（令和3）年度5月1日現在</p> |
|--|

2. 学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容 や期待する役割 |
|------------|--------|-------------------------------|---------------------|
| 常勤 | 株式会社役員 | 2019.11.16 ～ 2023.11.15 | 経営計画の策定 |
| 非常勤 | 株式会社役員 | 2019.11.16 ～ 2023.11.15 | 組織運営体制への チェック機能 |
| (備考) 学外者7名 | | | |

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|------|------------------------|
| 学校名 | 札幌大学女子短期大学部 キャリアデザイン学科 |
| 設置者名 | 学校法人札幌大学 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | |
|---|---|
| <p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> | |
| <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバスの具体的な作成方法について、以下の項目ごとに指針を含めて「シラバス入稿要領」を示し、全授業科目担当者に作成を依頼。(12月上旬)</p> <p>「成績評価」項目については、学則ならびにそれぞれの授業で定めた到達目標の下に設定する評価方基準を明記するよう依頼するとともに具体例を示している。</p> <p>【シラバス記載事項】</p> <p>①テーマ、②到達目標、③授業概要、④授業計画、⑤事前学習、⑥事後学習、⑦成績評価、⑧テキスト、⑨参考文献、⑩特記事項、⑪オフィスアワー</p> <p>1月末の入稿期限後、学長を総責任者としたシラバス確認作業の体制をとり、全授業科目のシラバスを点検し、改善が必要と判断した場合は、当該科目担当教員に記載内容の修正を求める。</p> <p>【確認体制】</p> <p>総責任者：学長 実務責任者：教務担当副学長 点検担当者：キャリアデザイン学科長</p> <p>以上の過程を経て、完成したシラバスを3月下旬にWEB上で公開するとともに、冊子版を新生及び在學生に4月のガイダンスにおいて配布している。</p> | |
| 授業計画書の公表方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・【ホームページ】シラバス http://syllabus.sapporo-u.ac.jp/index.html ・【総合学生支援システム(アイトス)】シラバス ・【印刷物】講義要綱(シラバス) <p>※ガイダンスで配布</p> |

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則において、「履修した授業科目については、試験を行い、学業成績を考査する。試験は筆記、口頭、実技及びレポートによって行う。」と定めている。

これに則り、シラバスに「授業計画」及び「成績評価」等を明記し、学生に周知している。

シラバスの授業計画に基づき、試験を行い、評価、履修の認定を行っている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学則において、「学業成績は、AA、A、B、C、D及びEに分け、AA、A、B及びCを合格とし、合格した授業科目については、所定の単位を与える」と定めている。

履修に関する学務規程において、「学業成績による学業結果を総合的に判断する指標として、総合平均点(GPA)を用いる。GPAは、学業成績のうち、AAにつき4.0、Aにつき3.0、Bにつき2.0、Cにつき1.0、D及びEにつき0.0をそれぞれ評価点として与え、各授業科目の評価点にその単位数を乗じて得た積の合計を、登録科目の総単位数で除して算出する」と客観的な指標を設定し、添付資料のとおり、成績の分布状況を把握している。

<成績評価基準>

| 区分 | 評価 | 成績評価基準 | G P | 評価内容 |
|-----|----|---------|-----|-----------------------|
| 合格 | AA | 100～90点 | 4.0 | 特に優れた成績を示した |
| | A | 89～80点 | 3.0 | 優れた成績を示した |
| | B | 79～70点 | 2.0 | 妥当と認められる成績を示した |
| | C | 69～60点 | 1.0 | 合格と認められる最低限の成績を示した |
| 不合格 | D | 59点以下 | 0.0 | 合格と認められるに足りる成績を示さなかった |
| | E | 未受験等 | 0.0 | 未受験等により、評価できない |

<GPA算出方法>

$$\frac{4.0 \times \text{AAの修得単位数} + 3.0 \times \text{Aの修得単位数} + 2.0 \times \text{Bの修得単位数} + 1.0 \times \text{Cの修得単位数}}{\text{総履修登録単位数(「D」「E」の単位数を含む)}}$$

| | |
|--|--|
| <p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・【ホームページ】成績評価・GPA制度について https://tandai.sapporo-u.ac.jp/campuslife/support-study.html ・【規程】札幌大学女子短期大学部履修に関する学務規程 ・【印刷物】履修のてびき <p style="text-align: center;">※ガイダンスで配布</p> |
| <p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> | |
| <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学位授与の方針 [ディプロマ・ポリシー]</p> <p>建学の精神「生气あふれる開拓者精神」のもと、実践型・体験型の学びを通して、教育目標に謳われる「生气あふれる人間」、「知性豊かな人間」、「信頼される人間」に成長し、自らの人生<career>を切り拓く<design>女性に必要な、以下に掲げる資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。</p> <p><知識・理解></p> <p>英語または近隣諸国の言語運用能力を身につけ、幅広い教養とビジネス（経済、経営）に関わる専門基礎知識を備えている。</p> <p><関心・意欲></p> <p>地域の取り組みに関心を持ち、自ら取り組みに加わり地域を共に創る意欲に溢れている。</p> <p><技能・表現></p> <p>問題解決のための必要な資料を収集・分析したうえで、的確に表現することができる。</p> <p><態度・志向性></p> <p>社会人としての素養とマナーを身につけ責任を自覚し、自立した女性として、互いに相手の尊厳を守りながら協働し、地域社会の発展に貢献できる。</p> <p>以上のようにディプロマ・ポリシーを定め、ホームページ及び冊子『履修のてびき』において公表している。また、これに基づき教育課程表を定め、公表し、2月末に卒業判定を行っている。</p> | |
| <p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・【ホームページ】学位授与の方針 [ディプロマ・ポリシー] https://tandai.sapporo-u.ac.jp/course/career/ ・【印刷物】履修のてびき <p style="text-align: center;">※ガイダンスで配布</p> |

| | |
|------|-------------------|
| 学校名 | 札幌大学女子短期大学部 こども学科 |
| 設置者名 | 学校法人札幌大学 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | |
|--|---|
| <p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバスの具体的な作成方法について、以下の項目ごとに指針を含めて「シラバス入稿要領」を示し、全授業科目担当者に作成を依頼。(12月上旬)</p> <p>「成績評価」項目については、学則ならびにそれぞれの授業で定めた到達目標の下に設定する評価方基準を明記するよう依頼するとともに具体例を示している。</p> <p>【シラバス記載事項】</p> <p>①テーマ、②到達目標、③授業概要、④授業計画、⑤事前学習、⑥事後学習、⑦成績評価、⑧テキスト、⑨参考文献、⑩特記事項、⑪オフィスアワー</p> <p>1月末の入稿期限後、学長を総責任者としたシラバス確認作業の体制をとり、全授業科目のシラバスを点検し、改善が必要と判断した場合は、当該科目担当教員に記載内容の修正を求める。</p> <p>【確認体制】</p> <p>総責任者：学長 実務責任者：教務担当副学長 点検担当者：こども学科長</p> <p>以上の過程を経て、完成したシラバスを3月下旬にWEB上で公開するとともに、冊子版を新入生及び在學生に4月のガイダンスにおいて配布している。</p> | |
| 授業計画書の公表方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・【ホームページ】シラバス http://syllabus.sapporo-u.ac.jp/index.html ・【総合学生支援システム(アイトス)】シラバス ・【印刷物】講義要綱(シラバス) <p>※ガイダンスで配布</p> |

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則において、「履修した授業科目については、試験を行い、学業成績を考査する。試験は筆記、口頭、実技及びレポートによって行う。」と定めている。

これに則り、シラバスに「授業計画」及び「成績評価」等を明記し、学生に周知している。

シラバスの授業計画に基づき、試験を行い、評価、履修の認定を行っている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学則において、「学業成績は、AA、A、B、C、D及びEに分け、AA、A、B及びCを合格とし、合格した授業科目については、所定の単位を与える」と定めている。

履修に関する学務規程において、「学業成績による学業結果を総合的に判断する指標として、総合平均点(GPA)を用いる。GPAは、学業成績のうち、AAにつき4.0、Aにつき3.0、Bにつき2.0、Cにつき1.0、D及びEにつき0.0をそれぞれ評価点として与え、各授業科目の評価点にその単位数を乗じて得た積の合計を、登録科目の総単位数で除して算出する」と客観的な指標を設定し、添付資料のとおり、成績の分布状況を把握している。

<成績評価基準>

| 区分 | 評価 | 成績評価基準 | G P | 評価内容 |
|-----|----|---------|-----|-----------------------|
| 合格 | AA | 100～90点 | 4.0 | 特に優れた成績を示した |
| | A | 89～80点 | 3.0 | 優れた成績を示した |
| | B | 79～70点 | 2.0 | 妥当と認められる成績を示した |
| | C | 69～60点 | 1.0 | 合格と認められる最低限の成績を示した |
| 不合格 | D | 59点以下 | 0.0 | 合格と認められるに足りる成績を示さなかった |
| | E | 未受験等 | 0.0 | 未受験等により、評価できない |

<GPA算出方法>

$$\frac{4.0 \times \text{AAの修得単位数} + 3.0 \times \text{Aの修得単位数} + 2.0 \times \text{Bの修得単位数} + 1.0 \times \text{Cの修得単位数}}{\text{総履修登録単位数(「D」「E」の単位数を含む)}}$$

| | |
|--|--|
| <p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・【ホームページ】成績評価・GPA制度について https://tandai.sapporo-u.ac.jp/campuslife/support-study.html ・【規程】札幌大学女子短期大学部履修に関する学務規程 ・【印刷物】履修のてびき <p style="text-align: center;">※ガイダンスで配布</p> |
| <p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> | |
| <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学位授与の方針 [ディプロマ・ポリシー]</p> <p>建学の精神「生氣あふれる開拓者精神」のもと、教育目標に謳われる「生氣あふれる人間」、「知性豊かな人間」、「信頼される人間」に成長し、自らの人生を切り拓く人間に必要な資質としての「知識・理解」「関心・意欲」「技能・表現」「態度・志向性」を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解></p> <p>乳幼児期の教育・保育を担う保育者として求められる基本的理論や事項を理解し、的確で共感的な子ども理解に基づいた適切な関わりのできる能力を有している。</p> <p><関心・意欲></p> <p>乳幼児期の人格形成に深く関わる保育者としての自覚をもち、豊かな情操と調和のとれた人間性を養い、主体的に学び続ける意欲にあふれている。</p> <p><技能・表現></p> <p>主体的な活動としての遊びを中心とした教育・保育を実施できる、基礎的な知識・技能と豊かな表現力を修得している。</p> <p><態度・志向性></p> <p>豊かな教養と社会人としての素養を身につけ、地域社会の幅広い分野で教育・保育の向上に主体的に寄与する資質・能力を備えている。</p> <p>以上のようにディプロマ・ポリシーを定め、ホームページ及び冊子『履修のてびき』において公表している。また、これに基づき教育課程表を定め、公表し、卒業判定を行うこととしている。</p> | |
| <p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・【ホームページ】学位授与の方針 [ディプロマ・ポリシー] https://tandai.sapporo-u.ac.jp/course/child/ ・【印刷物】履修のてびき <p style="text-align: center;">※ガイダンスで配布</p> |

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

| | |
|------|-------------|
| 学校名 | 札幌大学女子短期大学部 |
| 設置者名 | 学校法人札幌大学 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|---|
| 貸借対照表 | https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/#zaimu |
| 収支計算書又は損益計算書 | https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/#zaimu |
| 財産目録 | https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/#zaimu |
| 事業報告書 | https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/organization/#report |
| 監事による監査報告(書) | https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/organization/#report |

2. 事業計画(任意記載事項)

| |
|---|
| 単年度計画(名称:令和3年度事業計画 対象年度:2021年度) |
| 公表方法:【ホームページ】 https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/organization/#report |
| 中長期計画(名称:札幌大学中長期構想 札幌みらいフロンティア・プラン 対象年度:2019年度~2023年度) |
| 公表方法:【ホームページ】 https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/organization |

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

| |
|---|
| 公表方法: https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/evaluation/ |
|---|

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

| |
|---|
| 公表方法: https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/evaluation/#certification |
|---|

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

| |
|--|
| 学部等名 キャリアデザイン学科 |
| 教育研究上の目的（公表方法： 【ホームページ】教育研究上の基本的な情報 https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/ 建学の精神・教育目標 https://tandai.sapporo-u.ac.jp/greeting/ 【印刷物】履修のてびき) |
| (概要) 本学は、併設校の札幌大学と共通する建学の精神として「生氣あふれる開拓者精神」を掲げ、「『生氣あふれる人間』、『知性豊かな人間』、『信頼される人間』の育成」という教育目標と、「北海道から世界へはばたく視野の広い人間、個性をみがき夢の実現を目指す人間、幅広い教養をもち人生を豊かにできる人間、地域を愛し社会貢献の意欲に富んだ人間、環境に配慮し未来に責任をもつ人間の育成」という教育方針のもと、学生に職業的専門教育を施すとともに女性の社会的自立を促す教育に取り組んでいる。 また、キャリアデザイン学科の教育目標及び人材育成の目的は次のとおりとする。 ① 21 世紀社会を女性として自立的に生き抜く自覚と責任感を持ち、社会人としての基礎的な素養とマナーに基づく対人コミュニケーション力を駆使して、社会の変化にも柔軟に対応し、自らの人生を自在に切り拓く人材を育成する。 ② 国際都市・札幌市において、基礎的な語学力をベースに国境を越えて発展する地域の諸相を見聞・体感し、地域の取り組みに参加することを通じて、地域において他者と共に新しい価値を生み出す力、すなわち、「地域共創力」を身につけた人材を育成する。 ③ 情報化、国際化する現代社会で必要とされる幅広い教養と、ビジネス社会で求められる基本的な専門知識やホスピタリティ能力をベースに、自立した職業人として北海道経済を担う種々の産業分野において活躍できる人材、また、地域の中で働き生活する社会人として 21 世紀の地域コミュニティを主体的に支えていくことができる人材を育成する。 |

卒業の認定に関する方針（公表方法：

【ホームページ】教育研究上の基本的な情報

<https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/>

学位授与の方針〔ディプロマ・ポリシー〕

<https://tandai.sapporo-u.ac.jp/course/career/>

【印刷物】履修のてびき

)

(概要)

学位授与の方針〔ディプロマ・ポリシー〕

建学の精神「生氣あふれる開拓者精神」のもと、実践型・体験型の学びを通して、教育目標に謳われる「生氣あふれる人間」、「知性豊かな人間」、「信頼される人間」に成長し、自らの人生<career>を切り拓く<design>女性に必要な、以下に掲げる資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。

<知識・理解>

英語または近隣諸国の言語運用能力を身につけ、幅広い教養とビジネス（経済、経営）に関わる専門基礎知識を備えている。

<関心・意欲>

地域の取り組みに関心を持ち、自ら取り組みに加わり地域を共に創る意欲に溢れている。

<技能・表現>

問題解決のための必要な資料を収集・分析したうえで、的確に表現することができる。

<態度・志向性>

社会人としての素養とマナーを身につけ責任を自覚し、自立した女性として、互いに相手の尊厳を守りながら協働し、地域社会の発展に貢献できる。

以上のようにディプロマ・ポリシーを定め、ホームページ及び冊子『履修のてびき』において公表している。また、これに基づき教育課程表を定め、公表し、2月末に卒業判定を行っている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：

【ホームページ】教育研究上の基本的な情報

<https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/>

教育課程編成・実施の方針〔カリキュラム・ポリシー〕

<https://tandai.sapporo-u.ac.jp/course/career/>

【印刷物】履修のてびき

)

（概要）

学位授与の方針を踏まえ、「生き抜く力」としての実践的教養（創造的な知性および実践能力）を育み、知性・品格・ホスピタリティにあふれる人間性を培うとともに、国際化する地域の中で、しなやかに自己実現を積み重ねていくことができる女性を育成するために、以下の方針に基づき教育課程を編成する。なお、単位認定にあたっては成績評価基準に基づく厳格な評価を行う。

- ① 建学の精神および教育目標に示した人材を育成するため、「教養教育」（思想と文化、社会と人間、自然と人間、心と身体）と「専門科目」（キャリア系、コミュニケーション系、ビジネス系、演習・実習）の学修区分を設定し、学修区分に偏らず、体系的に学ぶための教育課程を編成する。
- ② 豊かな知性と人間性を涵養するため、「幅広い教養」、「社会人としての素養」、「社会人としてのマナー」、「言語運用能力」、「ビジネス（経済・経営）に関わる専門基礎知識」、「地域への関心・地域を共に創る意欲」、「問題解決のための資料収集・分析と表現力」を育む多様な科目を展開する。
- ③ 女性としての自立と将来にわたるキャリアデザインの基盤をつくるために、女性力を多角的に培う教育を展開する。
- ④ 自ら考え行動し「生き抜く力」としての実践的教養を身につけるため、アクティブラーニングを重視し、地域社会との交流、社会貢献、国際交流、異文化理解等の機会を積極的に提供する。
- ⑤ 地域において他者と共に新しい価値を生み出す力「地域共創力」を身につけるために、地域性を活かした特色ある科目を展開する。
- ⑥ 幅広い教養と基本的専門知識の修得に加えて、前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力等、社会人として必要な汎用的な能力を身につけることができるように配慮する。
- ⑦ 学修効果を高めるため、少人数・参加型・双方向型授業の実践に努め、きめ細かく丁寧な指導により、学生一人ひとりの成長を支援する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：
【ホームページ】 教育研究上の基本的な情報
<https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/>
 入学者受入の方針〔アドミッション・ポリシー〕
<https://tandai.sapporo-u.ac.jp/course/career/>
【印刷物】 受験ガイド、履修のてびき)

(概要)

学位授与方針、教育課程編成・実施の方針に基づき、目の前の課題に自覚的に取り組み、何事にも積極的に学び、体験し、視野を広げ、成果を実際に示そうという入学者を受け入れる。

そのためには、幅広く学習し、基礎学力に加えて、得意な教科を有していること、資格・検定等の成果を有していること、課外活動、生徒会活動、ボランティア活動等を通して、主体性、協働性を有していることが望まれる。

「入学者に求める学力の3要素」

| 学力の3要素 | 入学者に求める力 |
|---------------------------------|---|
| 知識・技能 | <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校等で履修した教科科目について、基礎的な学力を持ち、得意な教科科目を有している。 ・検定試験等を受験し、資格等を有している。 ・日本語で正確に「読む」、「書く」、「話す」ことができる。 ・社会的関心を有している。 ・特技を有している。 |
| 思考力・判断力・表現力 | <ul style="list-style-type: none"> ・課題を自ら発見し、その解決に向けて取り組むことができる。 ・目標を自ら設定し、達成に向けて努力することができる。 ・成果等を表現するために自分の考えをまとめ、相手に伝えることができる。 ・他者の考えを理解し、自分の考えを伝えることができる。 |
| 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性等) | <ul style="list-style-type: none"> ・主体的、積極的に物事に取り組むことができる。 ・明確な将来像を有している。 ・主体的に、正課外活動に参加した。 ・様々な活動を通じ、他者と協働した。 ・地域や国内外で活動した。 |

| |
|--|
| <p>学部等名 こども学科</p> |
| <p>教育研究上の目的（公表方法： 【ホームページ】 教育研究上の基本的な情報 https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/ 建学の精神・教育目標 https://tandai.sapporo-u.ac.jp/greeting/ 【印刷物】 履修のてびき)</p> |
| <p>(概要)</p> <p>本学は併設校の札幌大学と共通する建学の精神として「生气あふれる開拓者精神」を掲げ、「『生气あふれる人間』、『知性豊かな人間』、『信頼される人間』の育成」という教育目標と、「北海道から世界へはばたく視野の広い人間、個性をみがき夢の実現を目指す人間、幅広い教養をもち人生を豊かにできる人間、地域を愛し社会貢献の意欲に富んだ人間、環境に配慮し未来に責任をもつ人間の育成」という教育方針のもと、学生に職業的専門教育を施すとともに女性の社会的自立を促す教育に取り組んでいる。</p> <p>また、こども学科の教育目標及び人材育成の目的は次のとおりとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 豊かな人間性と確かな専門性を身につけ、地域における子どもの教育、保育、子育ての充実に貢献できる人材を養成する。 ② 子どもや遊びの本質と多様性を理解し、確かな知識・技能をもって子どもの健全な育ちを支えることのできる人材を養成する。 ③ 子どもの人格形成に深くかかわる者としての自覚をもち、自らの感性と表現力を磨きながら学び続けようとする人材を養成する。 |

卒業の認定に関する方針（公表方法：

【ホームページ】教育研究上の基本的な情報

<https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/>

学位授与の方針〔ディプロマ・ポリシー〕

<https://tandai.sapporo-u.ac.jp/course/child/>

【印刷物】履修のてびき

)

(概要)

学位授与の方針〔ディプロマ・ポリシー〕

建学の精神「生氣あふれる開拓者精神」のもと、教育目標に謳われる「生氣あふれる人間」、「知性豊かな人間」、「信頼される人間」に成長し、自らの人生を切り拓く人間に必要な資質としての「知識・理解」「関心・意欲」「技能・表現」「態度・志向性」を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。

<知識・理解>

乳幼児期の教育・保育を担う保育者として求められる基本的理論や事項を理解し、的確で共感的な子ども理解に基づいた適切な関わりのできる能力を有している。

<関心・意欲>

乳幼児期の人格形成に深く関わる保育者としての自覚をもち、豊かな情操と調和のとれた人間性を養い、主体的に学び続ける意欲にあふれている。

<技能・表現>

主体的な活動としての遊びを中心とした教育・保育を実施できる、基礎的な知識・技能と豊かな表現力を修得している。

<態度・志向性>

豊かな教養と社会人としての素養を身につけ、地域社会の幅広い分野で教育・保育の向上に主体的に寄与する資質・能力を備えている。

以上のようにディプロマ・ポリシーを定め、ホームページ及び冊子『履修のてびき』において公表している。また、これに基づき教育課程表を定め、公表し、卒業判定を行うこととしている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：

【ホームページ】教育研究上の基本的な情報

<https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/>

教育課程編成・実施の方針〔カリキュラム・ポリシー〕

<https://tandai.sapporo-u.ac.jp/course/child/>

【印刷物】履修のてびき

)

（概要）

学位授与の方針を踏まえ、「生き抜く力」としての実践的教養（創造的な知性および実践能力）を育み、知性・品格・ホスピタリティにあふれる人間性を培うとともに、国際化する地域の中で、しなやかに自己実現を積み重ねていくことができる人材を育成するために、以下の方針に基づき教育課程を編成する。なお、単位認定にあたっては成績評価基準に基づく厳格な評価を行う。

- ① 建学の精神および教育目標に示した人材を育成するため、「教養教育」と「専門科目」の学修区分を設定し、体系的に学ぶための教育課程を編成する。
- ② 豊かな知性と人間性を涵養するため、「幅広い教養」「社会人としての素養」「社会人としてのマナー」「言語運用能力」とともに「学科に関わる専門的知識・技能」「地域への関心・地域を共に創る意欲」「問題解決のための資料収集・分析と表現力」を育む多様な科目を展開する。
- ③ 人間としての自立と将来にわたるキャリアデザインの基盤をつくるために、人間力を多角的に培う教育を展開する。
- ④ 自ら考え行動し「生き抜く力」としての実践的教養を身につけるため、アクティブラーニングを重視し、地域社会との交流、社会貢献、国際交流、異文化理解等の機会を積極的に提供する。
- ⑤ 地域において他者と共に新しい価値を生み出す力「地域共創力」を身につけるために、地域性を活かした特色ある科目を展開する。
- ⑥ 幅広い教養と基本的専門知識・技能の習得に加えて、前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力等、社会人として必要な汎用的な能力を身につけることができるように配慮する。
- ⑦ 学修効果を高めるため、少人数・参加型・双方向型授業の実践に努め、きめ細かく丁寧な指導により、学生一人ひとりの学びと人間形成の確立を支援する。

こども学科は、この短大全体のポリシーを共有するとともに、幼児教育や保育、子育てに関わる専門職能を養成するという学科固有の使命に基づき、ポリシー間の比重の配分にこども学科固有の特質を反映させる。すなわち、全ての学修のベースであり、生涯にわたり人格陶冶の基盤ともなる「幅広い教養」を併修させつつも、「学科に関わる専門的知識・技能」の修得に十分な比重をおかせることをポリシーとして求める。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：
 【ホームページ】教育研究上の基本的な情報
<https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/>
 入学者受入の方針〔アドミッション・ポリシー〕
<https://tandai.sapporo-u.ac.jp/course/child/>
 【印刷物】受験ガイド、履修のてびき)

(概要)
 学位授与の方針、教育課程の編成方針に基づき、地域社会の未来を担う子どもの成長を願い、子どもに対する愛情と理解を深め、目の前の課題に自覚的に取り組み、何事にも積極的に学び、体験し、視野を広げ、地域の子育てを担う専門的保育者を目指す者を受け入れる。
 そのために、身につけておくべき力を次表のように「学力の3要素」毎に表している。

「入学者に求める学力の3要素」

| 学力の3要素 | 入学者に求める力 |
|-----------------------------|---|
| 知識・技能 | <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校等で履修した教科科目について、基礎的な学力を持ち、得意な教科科目を有している。 ・検定試験等を受験し、資格等を有している。 ・日本語で正確に「読む」、「書く」、「話す」ことができる。 ・社会的関心を有している。 ・特技を有している。 |
| 思考力・判断力・表現力 | <ul style="list-style-type: none"> ・課題を自ら発見し、その解決に向けて取り組むことができる。 ・目標を自ら設定し、達成に向けて努力することができる。 ・成果等を表現するために自分の考えをまとめ、相手に伝えることができる。 ・他者の考えを理解し、自分の考えを伝えることができる。 |
| 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性等） | <ul style="list-style-type: none"> ・主体的、積極的に物事に取り組むことができる。 ・明確な将来像を有している。 ・主体的に、正課外活動に参加した。 ・様々な活動を通じ、他者と協働した。 ・地域や国内外で活動した。 |

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：【ホームページ】教育研究上の基本的な情報

<http://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

| a. 教員数（本務者） | | | | | | | |
|--|--------|--|-----|----|----|-----------|-----|
| 学部等の組織の名称 | 学長・副学長 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 その他 | 計 |
| － | 0人 | － | | | | | 0人 |
| キャリアデザイン学科 | － | 3人 | 1人 | 0人 | 3人 | 0人 | 7人 |
| こども学科 | － | 3人 | 6人 | 0人 | 0人 | 0人 | 9人 |
| b. 教員数（兼務者） | | | | | | | |
| 学長・副学長 | | 学長・副学長以外の教員 | | | | | 計 |
| 2人 | | 27人 | | | | | 29人 |
| 各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等） | | 公表方法：【ホームページ】教員組織、各教員が有する学位及び業績 http://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure | | | | | |
| c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項） | | | | | | | |
| <p>・「FDミーティング」の設置</p> <p>学長から指名された教育職員と事務職員を構成員とし、FD活動を推進。これまでに、授業内容・方法をはじめ、高大接続、アクティブラーニング、学士力の担保、地域貢献、研究成果の公表、学科改革、入学時のガイダンス・オリエンテーション等について検討、情報交換および相互啓発を行ってきた。</p> <p>・FD研修会の実施</p> <p>教育内容の向上、教育職員の資質向上を目的として学内講師・学外講師による研修会を実施。新型コロナウイルス感染拡大防止のため「Teams」を用いたオンライン研修を実施する機会が増えた。</p> <p>※令和2年度実施 研修テーマ</p> <p>「新任教員研修」※令和2(2020)年度4月着任者対象</p> <p>「遠隔授業実施のための研修会」 「Microsoft Teams 講習会」</p> <p>「授業改善アンケートのWEB化に伴う操作方法について」</p> <p>「コロナ禍における就活支援」</p> <p>・学生による授業改善アンケート調査の実施</p> <p>各授業科目とも、実施学期の中間および期末の2回にわたり調査を実施。PDCAサイクルの中の「CHECK」機能の一部として位置づけ、アンケート結果は授業別に集計し、各授業担当教員にフィードバックする。</p> <p>また、学生への対応改善を強化するため、評価結果の低い教員には改善計画書の学長への提出を義務付け、教育改善のPDCAサイクルを組織的に機能させる。</p> | | | | | | | |

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

| 学部等名 | 入学定員 (a) | 入学者数 (b) | b/a | 収容定員 (c) | 在学生数 (d) | d/c | 編入学 定員 | 編入学 者数 |
|------------|-------------|-------------|-------|-------------|-------------|-------|-----------|-----------|
| キャリアデザイン学科 | 30人 | 17人 | 56.7% | 60人 | 34人 | 56.7% | －人 | －人 |
| こども学科 | 50人 | 17人 | 34.0% | 100人 | 34人 | 34.0% | －人 | －人 |
| 合計 | 80人 | 34人 | 42.5% | 160人 | 68人 | 42.5% | －人 | －人 |
| (備考) | | | | | | | | |

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

| 学部等名 | 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
|--|---------------|----------------|-------------------|----------------|
| キャリアデザイン学科 | 20人 (100%) | 1人 (5.0%) | 17人 (85.0%) | 2人 (10.0%) |
| こども学科 | 13人 (100%) | 3人 (23.1%) | 9人 (69.2%) | 1人 (7.7%) |
| 合計 | 33人 (100%) | 4人 (12.1%) | 26人 (78.8%) | 3人 (9.1%) |
| (主な進学先・就職先) (任意記載事項) 札幌大学、株式会社北海道銀行、空知信用金庫、株式会社ロジネットジャパン、中道リース株式会社、株式会社北海道クラウン、株式会社なの花北海道 郡山市子ども子育て支援企業組合、学校法人北海道カトリック学園、学校法人バプテスト学園、学校法人アソカ学園 他 | | | | |
| (備考) | | | | |

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

| 学部等名 | 入学者数 | 修業年限期間内 卒業者数 | 留年者数 | 中途退学者数 | その他 |
|------------|---------------|-----------------|-------------|----------------|----------------|
| キャリアデザイン学科 | 22人 (100%) | 19人 (86.4%) | 0人 (0%) | 3人 (13.6%) | 0人 (0%) |
| こども学科 | 16人 (100%) | 13人 (81.3%) | 0人 (0%) | 1人 (6.3%) | 2人 (12.5%) |
| 合計 | 38人 (100%) | 32人 (84.2%) | 0人 (0%) | 4人 (10.5%) | 2人 (5.3%) |
| (備考) | | | | | |

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

| |
|---|
| <p>(概要)</p> <p>シラバスの具体的な作成方法について、以下の項目ごとに指針を含めて「シラバス入稿要領」を示し、授業科目担当者に作成を依頼。</p> <p>【シラバス記載項目】</p> <p>①テーマ、②到達目標、③授業概要、④授業計画、⑤事前学習、⑥事後学習、⑦成績評価、⑧テキスト、⑨参考文献、⑩特記事項、⑪オフィスアワー</p> <p>WEB上でシラバスを公開しているほか、冊子によるシラバスを作成し、4月のガイダンス時に学生に配布。</p> |
|---|

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

| <p>(概要)</p> <p>学則において、「履修した授業科目については、試験を行い、学業成績を考査する。試験は筆記、口頭、実技及びレポートによって行う。」と定めている。</p> <p>これに則り、シラバスに「授業計画」及び「成績評価」等を明記し、学生に周知している。</p> <p>シラバスの授業計画に基づき、試験を行い、評価、履修の認定を行っている。</p> | | | | |
|---|------------|--|----------------------|-----------------------|
| 学部名 | 学科名 | 卒業に必要な単位数 | GPA制度の採用 (任意記載事項) | 履修単位の登録上限 (任意記載事項) |
| | キャリアデザイン学科 | 62 単位 | ○・無 | 40 単位 |
| | こども学科 | 62 単位 | ○・無 | 52 単位 |
| GPAの活用状況 (任意記載事項) | | <p>公表方法：公表方法：学則、履修に関する学務規程に定める成績評価基準に従い、各評価にG Pを与え、学期・通算のG P Aを算出している。</p> <p>https://tandai.sapporo-u.ac.jp/campuslife/support-study.html</p> <p>各セメスターの履修限度単位数をキャリアデザイン学科 20 単位、こども学科 26 単位に定めている。</p> <p>前学期のG P Aが 2.5 以上の場合は、学期の履修限度単位数をキャリアデザイン学科 24 単位、こども学科 30 単位とする。</p> | | |
| 学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項) | | 公表方法： | | |

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：

【ホームページ】校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境
<http://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

| 学部名 | 学科名 | 授業料 (年間) | 入学金 | その他 | 備考(任意記載事項) |
|-----|--------------------|-------------|----------|----------|--|
| | キャリア デザイン 学科 | 770,000円 | 200,000円 | 220,000円 | その他の内訳：施設設備費 (120,000円)、休学中の在籍 料(100,000円) |
| | こども学 科 | 770,000円 | 200,000円 | 220,000円 | その他：施設設備費(120,000 円)、休学中の在籍料 (100,000円) |

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

入学時に新入生ガイダンスにおいて、建学の精神、教育目標に加え、学修成果を十分に獲得できるように科目の開設趣旨、到達目標に対応する学修方法や履修登録に向けた科目の選択、時間割の作成について具体的に説明し、学修の動機づけを行っている。

また、教員によるアドバイザー制をとっており、入学から卒業までの学修指導、進路指導はもちろん、生活全般についてきめ細かくアドバイスや指導を行っている。学生との個人面談を定期的に行い、教職員間で情報を共有し、学修の動機づけを維持・向上させている。授業担当者からの欠席情報があった場合には、学生本人はもちろん、状況に応じて保護者に電話等で連絡するなど、単位修得に影響が生じないよう早期に対応する体制をとっている。

基礎学力が不足する学生に対しては、専属の教員が配置された「学修支援センター」で、基礎学力講座を提供するとともに個別指導を行っている。

2年次生に対しても学期毎にガイダンスを実施し、前学期までの単位修得状況及びGPAが掲載された成績通知書を使って、卒業必要単位を確認させ、自身のキャリアデザインの点検・再設定を促している。特に修得単位数の少ない学生や成績不振者には、アドバイザー教員が個別指導を行い事務職員がフォローする体制をとっている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

【キャリアサポートセンター】

個人面談：学年問わず、将来についての相談をいつでも受け付ける。進路についての悩みや不安はもちろん、履歴書の書き方、面接の練習などにも対面・オンラインで応じる。卒業後も利用可能。

資格・検定・公務員試験の受験対策講座：多くの講座を学内で開講し、受講料を安く設定している。合格者へのキャッシュバック制度もあり、学生の意欲向上に繋がっている。

また、卒業後2年以内であれば資格・検定対策講座を受講できる。

【就職講座】

就職活動はいつ、何からスタートすればいいのか。自分を知ること、相手を知ることが目的に就職活動の流れから合同企業説明会の有効活用術までを支援する。

【インターンシップ】

派遣先は「北海道地域インターンシップ推進協議会」を通じた企業のほか、学生の選択肢が広がるよう積極的に大学が受け入れ先を開拓している。インターンシップ講座も実施し、インターンシップの拡大・充実を図っている。これまでに夏休みなどの長期休暇を利用した観光業、金融業、農業などでのインターンシップを実施。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

学生からの学生生活で発生するさまざまな悩みの相談に対し、よりよい方法を一緒に考え、より充実した学生生活を送れるように支援を行っている。学生だけではなく、保護者や教職員からの相談にも応じ、相談員がプライバシーに配慮した上で問題解決に向けた支援を行っている。また、相談員に相談できるほか、週に一度の精神保健相談日に精神科医師にも相談することができる体制を整えている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：

【ホームページ】教育研究上の基礎的な情報

<http://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

| | |
|------|-------------|
| 学校名 | 札幌大学女子短期大学部 |
| 設置者名 | 学校法人札幌大学 |

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

| | | 前半期 | 後半期 | 年間 |
|--------------------|------|-----|-----|-----|
| 支援対象者（家計急変による者を除く） | | 12人 | 一人 | 一人 |
| 内 訳 | 第Ⅰ区分 | 一人 | 一人 | |
| | 第Ⅱ区分 | 一人 | 一人 | |
| | 第Ⅲ区分 | 一人 | 一人 | |
| 家計急変による支援対象者（年間） | | | | 0人 |
| 合計（年間） | | | | 12人 |
| (備考) | | | | |

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

| | |
|----|----|
| 年間 | 0人 |
|----|----|

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

| | 右以外の大学等 | | |
|--|---------|-----|-----|
| | 年間 | 前半期 | 後半期 |
| 修業年限で卒業又は修了できないことが確定 | 人 | 0人 | 0人 |
| 修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下) | 人 | 一人 | 0人 |
| 出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況 | 人 | 一人 | 0人 |
| 「警告」の区分に連続して該当 | 人 | 0人 | 一人 |
| 計 | 人 | 一人 | 一人 |
| (備考) | | | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

| 右以外の大学等 | | 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。） | | | |
|---------|---|---|----|-----|----|
| 年間 | 人 | 前半期 | 0人 | 後半期 | 0人 |
| | | | | | |

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

| | |
|---------|----|
| 退学 | 0人 |
| 3月以上の停学 | 0人 |
| 年間計 | 0人 |

| |
|------|
| (備考) |
|------|

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

| | |
|---------|----|
| 3月未満の停学 | 0人 |
| 訓告 | 0人 |
| 年間計 | 0人 |
| (備考) | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

| | 右以外の大学等 | 短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。） | |
|---|---------|---|-----|
| | 年間 | 前半期 | 後半期 |
| 修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下) | 人 | 0人 | 0人 |
| GPA等が下位4分の1 | 人 | 一人 | 一人 |
| 出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況 | 人 | 一人 | 一人 |
| 計 | 人 | 一人 | 一人 |

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。